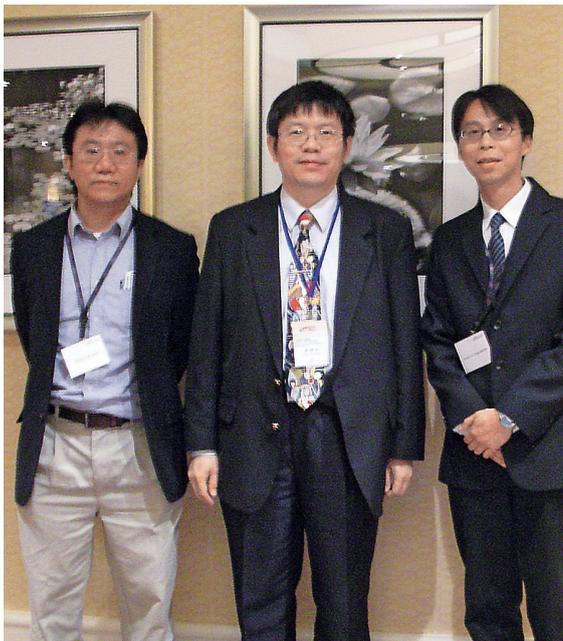


海外での
投資誘致



▲経済建設委員会がインドで開催した投資セミナーにて (2011.2.23)



▲投資誘致のため訪問したサンフランシスコにてスタンフォード人材養成プログラムのスタッフと (2011.5.19)

インド、アメリカ、日本で積極的に誘致活動を展開

南科管理局は行政院の「全球招商」に職員を同行させ、インド、日本、アメリカで投資誘致を行いました。

インド

2月20-26日、国家科学委員会の董良生参事が竹科管理局企画組の蔡錦郎科長と南科管理局投資組の梁玉玲科長を帯同して経済建設委員会が主催したインドへの投資誘致ツアーに参加しました。南科は「南部バイオ医療器材産業集積発展計画」推進のため、主にバイオや国際医療をターゲットにしたコースを選び、2月21-25日に首都・ニューデリー、インド最大の金融貿易センター・ムンバイ、インド内陸の新興工業都市・アフメダバードで投資セミナーを開催。合計で1000人以上の来場者を集めたこれらのセミナーへは現地の大企業も多数参加するなど大盛況でした。

アメリカ



▲経済建設委員会が主催した投資誘致訪日ツアーの全参加者が訪問先の株式会社ファーマフーズで記念撮影（2011.9.1）

国科会の周景揚副主任委員は竹科管理局の李淑美科長、南科管理局投資組の陳錦裕科長とともに投資誘致のため訪米し、5月16-20日にニューヨーク、サンフランシスコ、ロサンゼルス の三都市で投資セミナーを開催。また、現地の有望企業の訪問も行いました。投資セミナーの主会場では周景揚副主委が竹北バイオ医学園区と南科バイオ医療器材産業集積計画についてプレゼンし、分会场では李淑美科長と陳錦裕科長がバイオ医療器材関連メーカーの誘致計画や奨励策、助成金など来場者からの様々な問い合わせに応じました。

日本

経済建設委員会の劉憶如主任委員を団長とする行政院「全球招商」の訪日ツアーは、南科管理局の陳錦裕科長ほか各級政府機関や産業界から230人が参加し、8月29日-9月2日の4日間、積極的に誘致活動や企業訪問を行いました。滞在中は東京と大阪の二都市でそれぞれ「台湾投資セミナー」を開催したほか、主軸産業別に分かれて

日本の有名企業40数社を訪問しました。これには日台企業間の戦略的パートナーシップ促進によってアジアビジネスの新たなチャンスをつかもうという狙いがあります。✕



▲日本で開催された投資セミナーにて（2011.8.29）